

ホテルジャパン志賀

Hotel Japan Shiga
(長野県山ノ内町)



数年前、とあるグループで志賀高原にスキーをしに来た時、昼食にホテルジャパンでカレーを食べたことがあった。客席の脇のガラス張りの部屋では、ネパール人らしき職人がナンを次から次に窯で焼いており、激辛のカレーから甘口のカレーまで数種類のカレーが用意されていた。焼きたてのナンとともにカレーの食べ放題を楽しみ、贅沢な時間を過ごしたのを今でも覚えている。いつかこのホテルに宿泊したい。その思いがついに実現し、今回風呂の取材となった。

ホテルジャパンは志賀高原の中心部である一の瀬にあり、一の瀬ファミリーゲレンデまで徒歩で約2分のところにある。ゲレンデに近いのは良いのだが、このホテルには駐車場がほぼない。このため、車で来た客は、遠くにある駐車場まで車を移動させられ、ホテルの車で戻ってくるという面倒なことをしなければならない。しかし、ホテルスタッフが迅速かつ親切に対応してくれるので、それほど問題はない。

フロントは2階。フロント近くには売店、ロビーなどがあり、ロビーには高級そうなステレオが置かれており、アナログレコードやCDで音楽を楽しむことができる。このホテルのオーナーは音楽が好きなのだろうか、ホテルのそこかしこに古い楽器や音楽を奏でる人形が配置されている。1階には音楽ホールがあり、スキーオフシーズンには楽団の合宿も行われているという。

スキーロッカー、乾燥室は1階。音楽ホールの近くにある。チューンナップ台も2台ある。その音楽ホールは、スキーシーズン中はチェックアウト後の宿泊客の荷物置場になっている。

ロビーは豪華なのだが、客室のフロアの廊下は意外に殺風景だ。取材班は 7 階の和室に宿泊したのだが、広さは十分。注意点は、猿が侵入する恐れがあるため、窓は必ず鍵をかけるとのことだ。猿は 7 階にまで壁をつたって登ってくるのだろうか。

前置きが長くなったが、ホテルジャパンの風呂を紹介する。風呂は 1 階にある。貴重品は客室に置いてくるか、フロント前の貴重品ロッカーに保管しよう。

脱衣室にはロッカーはなく、脱いだものを入れる籠が 60 個ある。洗面台は 5 個、無料で利用できるドライヤーもある。

浴室はシンプルそのものである。中央と左手前に浴槽があり、左右に洗い場があるのみだ。中央の浴槽の定員は 10 人ほどで適温。左手前の小さい浴槽の定員は 4 人ほどでややぬるめの設定だ。洗い場は 12 箇所。シャンプーとボディーソープは完備している。浴室の内部仕上げは豪華な石貼りだ。サウナ、水風呂はない。

ぬるめの湯が好きな私は、左手前の小さい浴槽に長湯し、スキーで酷使された筋肉をほぐす。今回生まれて初めてスラロームの競技用スキーを履いてみた。その回転性能に驚きながら、ゲレンデをかつ飛ばした。

風呂上がりはフロント横で売っているハーゲンダッツを食べながら、ステレオでクラシックを聴くのがお勧めだ。ただ、ステレオの使用はセルフサービス。オーディオの知識がないと音をならすのは難しい。

ホテルをチェックアウトした日の昼食は前述のカレーを提供する「エスニックレストラン かもしか」で。ナンのおかわりをしようとして「半分がいい」と言うと、ナンが半分に切られてほぼ 1 枚出てきてしまった。日本語は難しい。ちなみに、このカレーの食べ放題は 11:00 が開店。しかし、11:00 にはほぼすべての席が埋まってしまう。それらの客が出ていく 12:00 前あたりが狙い目だろう。

最近、ニセコ、白馬、野沢などの各スキー場はオーストラリア人、中国人をはじめとした外国人で溢れかえっているが、志賀高原には外国人は少ない。おそらく志賀高原は交通の便が悪く、ショップもなく、夜遊べる場所がないのが原因ではないかと思われる。それでも外国人が皆無というわけではない。とにかくスキーを楽しみたい、そういった外国人には日本最大規模のゲレンデである志賀高原は最適に違いない。

ホテルジャパンは、志賀高原を楽しむスキーヤー、音楽を愛する楽団員の心をとらえて離さない。

DATA

名称	ホテルジャパン志賀
所在地	長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬
電話	0269-34-2801
営業時間	12:00~翌朝9:00
定休日	無休
入浴料	宿泊者は無料
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2019年12月29日(日)、30日(月)
取材	銭湯愛好会東京支部